

平成21年10月16日
岩手日報朝刊より

新渡戸の功績しのぶ

盛岡で命
日前夜祭 渡辺学長(拓殖大)ら講演

新渡戸稲造の命日前夜祭(同実行委主催)は15日、盛岡市志家町のサンセール盛岡で開かれた。約50人が郷土の先人をしのんだ。

新渡戸基金の15周年と新渡戸稲造会の25周年を記念。拓殖大の渡辺利夫学長が「アジアと日本」、関西大の大

津留智恵子教授が「日米の絆を深めるため」と題して講演した。

渡辺学長は「新渡戸は拓殖大にも籍を置いた。国家に寄りかからず個人として自立し、国家を背負う人材たるべしと常に述べていた」と話した。



新渡戸稲造の功績を振り返った命日前夜祭

岩手日報社より許諾を得て掲載しています。